



興味深い議事堂の数字的見方

我國に於ける劃の大建築であり、設計施工材料等一切國産を以て建築されたので特に意義の深い帝國議會新議事堂に就ては既に本誌12月號及12月號誌上に於て、議院建築に生涯を捧げられた大熊喜邦先生が詳細に述べられてゐるが、茲に其補遺として興味深い議事堂の数字的研究を掲げる事とした。

(1) 假議事堂との比較

本議事堂		假議事堂	
敷地坪數	20,946坪(69,245平方米92)	7,797坪3	(25,788平方米51)
建物坪數	{ 建坪數 3,750坪(12,396平方米75) 延坪數 15,780坪(52,165平方米52)	{ 建坪數 4,154坪523(13,734平方米02) 延坪數 7,187坪937(23,761平方米88)	
階數	{ 一般 3階(一部4階)外に地下階 中央塔 9階		
幅員	{ 正面長さ 681尺(206米36) 側面長さ 292尺5(88米63)		
高さ	{ 一般 69尺(20米91) 中央塔 216尺(65米45)		
室數	主要なるもの 390室 (雜室を加へ 449室)		
議場坪數	{ 貴族院 225坪(743平方米81) 衆議院 225坪(743平方米81)		
議席數	{ 貴族院 { 460席(最大限635席) 1席當り 0.49坪(1平方米62) 衆議院 { 466席(最大限635席) 1席當り 0.483坪(1平方米60)		
傍聽席數	{ 貴族院 { 770席(新聞記者席共) 衆議院 { 922席(新聞記者席共)		
階數	{ 一般 二階 中央塔		
幅員	{ 正面長さ 455尺55(138米04) 側面長さ 381尺15(115米50)		
高さ	{ 一般 軒高30尺(9米09) 中央塔		
室數	225室		
議場坪數	{ 貴族院 166坪778(551平方米34) 衆議院 161坪778(534平方米81)		
議席數	{ 貴族院 { 418席 1當り 0.398坪(1平方米30) 衆議院 { 464席 1當り 0.348坪(1平方米50)		
傍聽席數	{ 貴族院 562席(新聞記者席共) 衆議院 589席(新聞記者席共)		

(2) 高さ

日本で一番高い建造物は愛知縣の依佐美無線電信塔である。その他煙突等には高いものもあるが、建物では議事堂の塔が第一位で、次が三越本店の塔、ついで東寺の塔等である。その他一般に知られた我が國の建物の高さを比較して見ると次のやうである。尙現在世界最高の建物は紐育のエンパイアステート・ビルディングであるが、これは一千二百五十四尺(三百八十米)もあるので一寸桁

はづれである。

依佐美無線電信塔(愛知)	825尺(250米00)
原の町無線電信塔(福島)	660尺(200米00)
帝國議會議事堂中央塔(東京)	216尺(65米45)
三越本店塔旗竿頂上(東京)	200尺(60米61)
東寺五重塔(京都)	183尺7(55米67)
白木屋本店無線電信塔頂上(東京)	180尺(54米55)
新宿伊勢丹旗竿頂上(東京)	137尺3(52米52)
大阪市廳舎塔避雷針(大阪)	171尺6(52米00)
東大寺大佛殿(奈良)	171尺6(52米00)
名古屋城天守閣(愛知)	162尺(49米09)
東京驛(東京)	152尺(46米06)

(3) 廣 さ

我が國の事務所建築で面積が一番廣い建物は丸ノ内ビルディングで、議事堂はこれに次いで第二位となつてゐる。尙手近で著明な建物を調べて見ると次のやうである。

延 坪

丸ノ内ビルディング	18,286坪4(60,451平方米18)
帝國議會議事堂	15,780坪(52,165平方米52)
三越本店	15,380坪1(50,843平方米53)
貯金局	12,224坪8(40,475平方米66)
新宿伊勢丹	10,262坪3(33,925平方米11)
内務省	10,096坪2(33,375平方米73)
白木屋本店	10,089坪4(33,353平方米54)
海上ビルディング新館	9,761坪3(32,268平方米91)
明治生命本社	9,584坪2(31,683平方米45)
三井本館	9,557坪4(31,594平方米85)

建 坪

丸ノ内ビルディング	2,400坪(7,934平方米25)
帝國議會議事堂	3,750坪(12,396平方米75)
三越本店	1,912坪5(6,322平方米34)
貯金局	2,379坪9(7,867平方米37)
新宿伊勢丹	1,392坪(4,601平方米67)
内務省	1,176坪6(3,889平方米56)
白木屋本店	1,033坪2(3,415平方米55)
海上ビルディング新館	1,111坪4(3,674平方米07)
明治生命本社	1,172坪9(3,877平方米37)
三井本館	1,538坪(5,084平方米32)

(4) 長 さ

長さを比較して見ると東京驛が最も長く、明治神宮外苑陸上競技場の観覧席がそれに次ぎ、軍艦や橋等を加へて並べて見ると次のやうである。

東京驛	1,104尺(334米54)
ツェツペリン飛行場	775尺5(235米00)
明治神宮外苑陸上競技場観覧席	768尺1(232米76)
帝國議會議事堂	681尺(206米36)
軍艦陸奥	663尺(209米91)
清洲橋	616尺3(186米73)
三越本店	349尺(105米76)
三井本館	342尺(103米64)
丸ノ内ビルディング	331尺9(100米58)
白木屋本店	320尺(96米97)
明治生命本社	296尺5(89米84)

(5) 體積と重量

議事堂の體積は約1,230萬立方尺あつて、これを換算すると、57,000立方坪(34萬立方米)となり、樹目にすれば190萬石に當る。

重さは約2,900萬貫(109,000噸)ある。

(6) 廊下の長さ

内部の廊下の長さは約1萬298尺(3,120米)で、これに廣間の687尺(208米2)と階段の延長の4,328尺(1,310米2)を加へると、合計15,313尺となり、約一里七町(4軒64)になる。

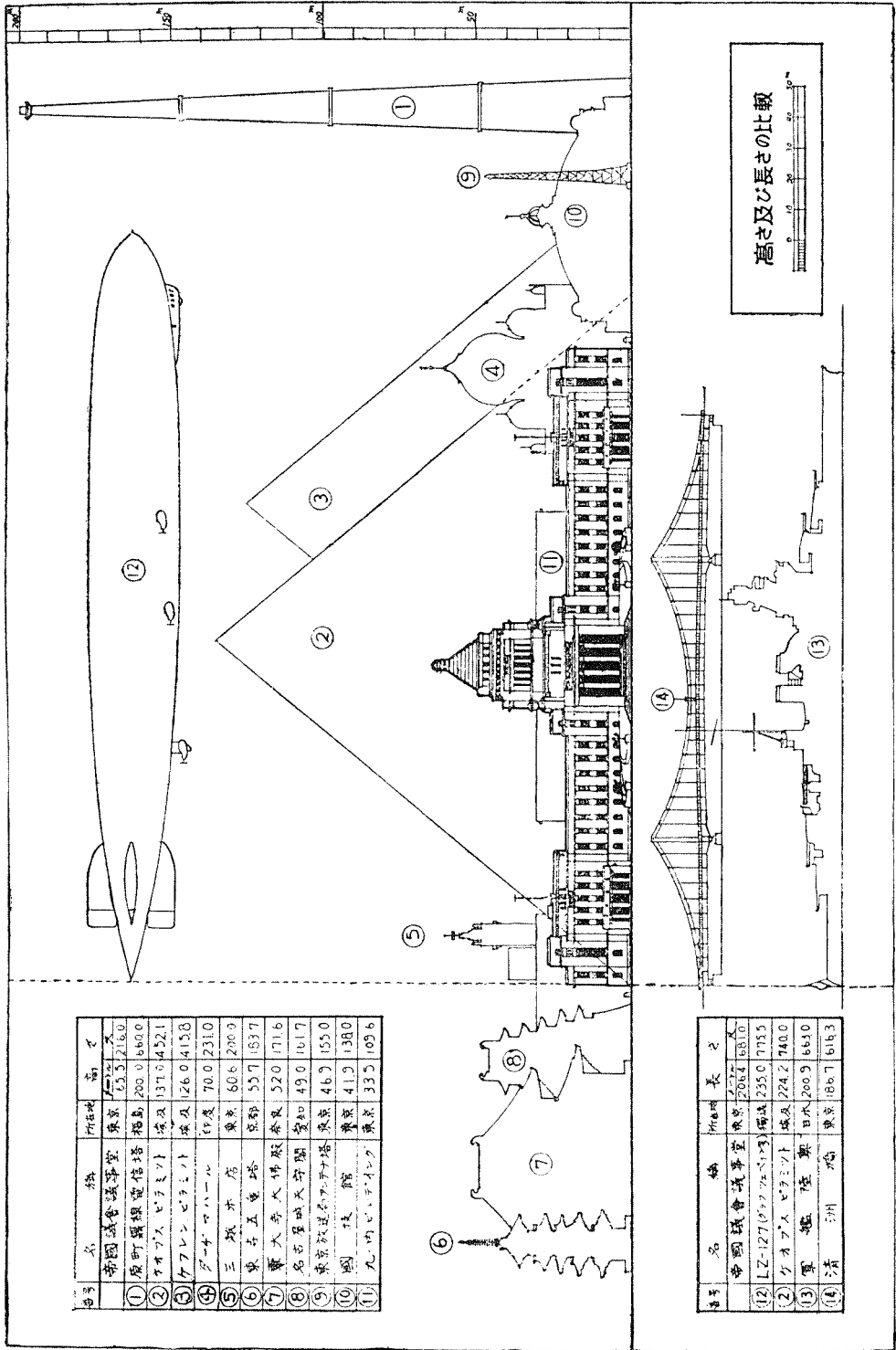
(7) 中央玄関の圓柱

中央玄関に立つてゐる四本の圓柱の直徑は、柱頭で5尺4寸(1米64)、柱脚で6尺(1米82)もあつて、高さは45尺(13米64)で、この一本の重量は24,700貫(92噸7)ある。

(8) 鐵骨及鐵筋の使用量

鐵骨の使用量は本館のみで9,810噸に達してゐる。又鐵筋の使用量は附屬家その他を含めて合計5,522噸でこれを全部直徑4分(12耗)のもののみならずと、その長さは約2,050萬尺となり約1,580里(6,220軒)で、丁度東京からホノルルに達する長

新議事堂高さ及び長さの比較

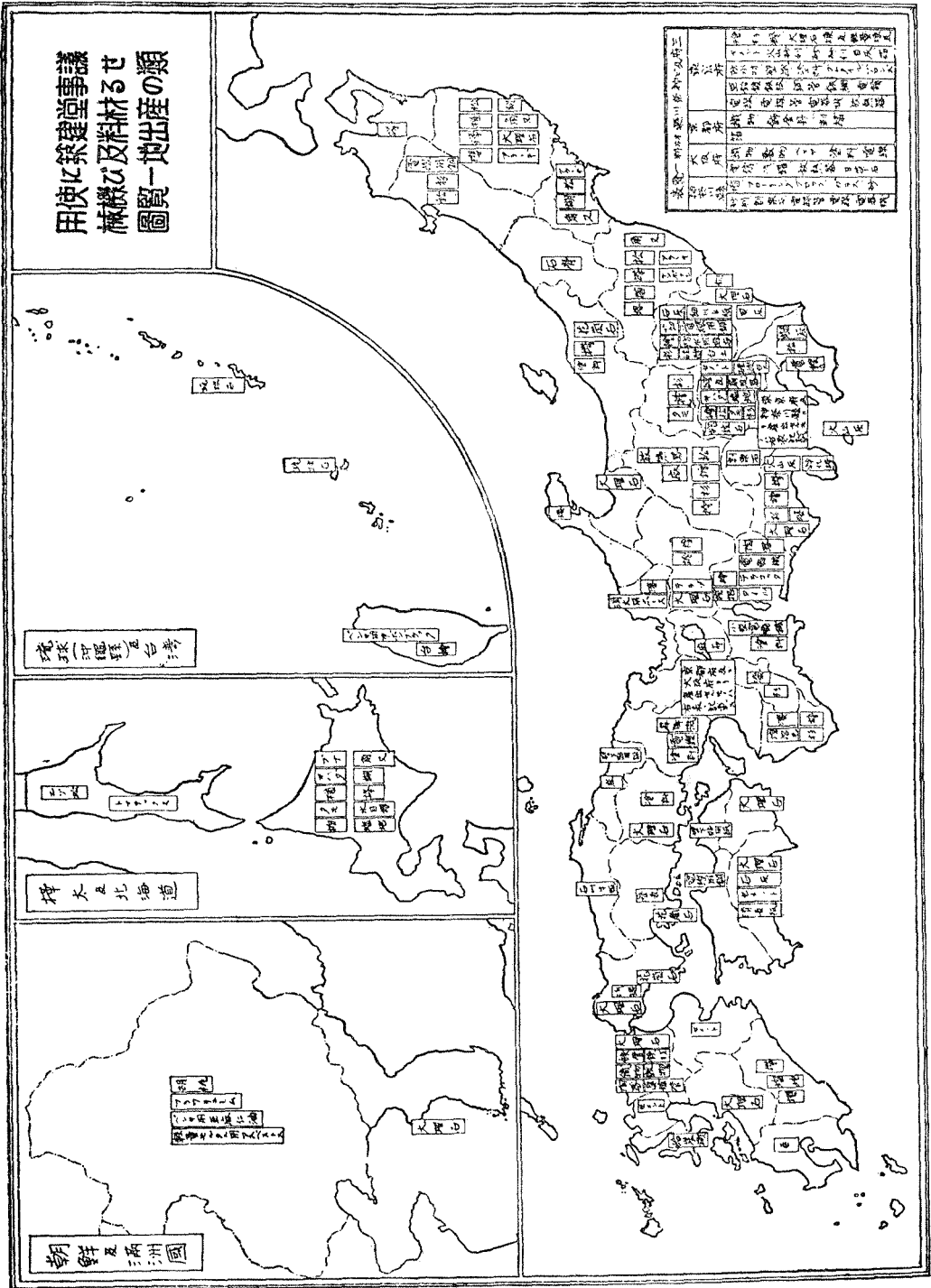


番号	名称	所在地	高さ
①	帝國議會議事堂	東京	63.3
②	原町無線電信塔	福島	200.0
③	オオプスビル	埼玉	137.0
④	ケブレンビル	埼玉	126.0
⑤	グランドホテル	印度	70.0
⑥	三坂ビル	東京	60.6
⑦	東古五重塔	京都	55.7
⑧	廣大寺大佛殿	奈良	52.0
⑨	名古屋大行閣	愛知	49.0
⑩	東京放送局塔	東京	46.9
⑪	國技館	東京	41.9
⑫	丸の内ビル	東京	33.5

番号	名称	所在地	長さ
⑬	帝國議會議事堂	東京	206.4
⑭	LZ-127	福地	235.0
⑮	オオプスビル	埼玉	224.2
⑯	翼艦	日本	200.9
⑰	清洲	東京	186.7

高さ及び長さの比較

議事堂建築に使用せる材料及機械類産出地



さである。

(9) 電気、機械、衛生用 各配管の長さ

附帯設備に使つた諸種の管の長さは次のやうで、その延長は約835,000尺(253軒)あるから約65里に當り、あたかも東京驛から濱松驛までとゞくことになる。

電気用管の長さ	約580,000尺(175軒8)
機械用管の長さ	約122,000尺(37軒0)
衛生用管の長さ	約90,000尺(27軒2)
ヒューム管、外障柵パイプ、 堅樋、階段手摺パイプ等	約43,000尺(13軒0)

(10) 石材の使用量

内外の壁に貼られた石材は、外部は花崗石内部は大理石及日華石であつて、その量は合計377,926切で、その内課は次のやうになつてゐる。そしてこれを一切(1立方尺)づゝ積み上げると、富士山の約30倍の高さとなる。

花崗石	338,985切	6,800,000貫(25,500甖)
大理石	37,038切	748,000貫(2,800甖)
日華石	1,903切	28,000貫(106甖)

(11) セメント、砂、砂利 の使用量

セメントの使用量は27,446甖、砂は5,870立坪(25,284立方米)であつて、砂利は次のやうにな

つてゐる。

大玉砂利	65立坪(390立方米72)
小砂利	8,440立坪(50,732立方米94)
切込砂利	160立坪(961立方米76)
火山砂利	200立坪(1,202立方米2)

(12) 木材の使用量

木材の使用量は17,300石であつて、その種類は二十四種類に亘つてゐる。

(13) 電力の使用量

議事堂には附屬家とも電球が7,939箇使用してあつて、そのワット数は、各種の機械用の動力をも含めて約1,500キロワットとなる。これを一戸平均五人家族として約300ワットを使用すると假定すれば人口25,000人を有する町で使用される電力量にほぼ等しいことになる。

(14) 使用人員

最後に、議事堂を建てるのにどれ位の人員が工場で働いたかと云ふと請負は十月末、直營は十一月末までの見込を加へて2,542,877人で、その内課は次のやうである。

建築工事	2,321,857人
機械工事	100,559人
電気工事	120,461人

九州地方に於ける國鐵建設の展望

—68頁よりつづく—

0圓即ち右の合計は二、三工區及改築工事部分十一ヶ所て延長177軒895米に達し此の請負金額は6,304,549圓となつてゐるのである。勿論之は停車場改新築、通信保安信號、軌道敷設、架桁、機關車庫連絡設備及用地買収費等は加算せざるものであるが九州各縣に亘り國鐵建設事業が民間經濟に及ぼせる影響のけだし尠少なからざるを想はざるを得ない。

次に昨年の全通と開通は

- 3月1日 内海線榎原、大堂津間開通
- 3月25日 指宿線全通

4月12日 日ノ影線日向岡元、川水流間開通

10月23日 古江線串良、東串良間開通

の四線で殊に指宿線の全通は鹿兒島市、南國の指宿温泉郷、山川港間を結び産業と観光上に寄與する功績は偉大なるものがあり山川枕崎間國營自動車及社線南薩鐵道と連絡して薩摩半島環狀線を形成し南九州交通界に一新紀元を劃せるものと云ふべきである。

以上建線の概況を述べて年頭の所感に代へたい。(終)